

お知らせ

<2007年4月から2012年8月までに川崎医科大学附属病院呼吸器外科において

原発性肺癌に対して手術を受けられた患者さんへ>

研究課題名：非小細胞肺癌の原発巣と転移リンパ節における

Glucose transporter type-1, 3の発現とFDG-PETでのSUVmax値に関する研究

2007年4月から2012年8月までに当院呼吸器外科で原発性肺癌のため手術を受けられた方の一部を対象として、手術前の画像検査（CT、PET-CT）においてリンパ節がどのように描出・評価されたか、手術前にそれらリンパ節転移の有無がどの程度診断可能であったかに関する検討を行っています。原発性肺癌の治療においてはリンパ節転移の有無が手術前後の抗癌剤治療など治療方針を決定する上で重要ですが、その手術前の画像検査による診断率は未だ十分ではありません。本研究ではこれまで当院で行ってきた手術前の画像検査によるリンパ節転移診断の診断率とその病理組織学的所見や分子生物学的特徴との関連性や問題点などを明らかにして、さらには今後の診断率向上に役立てることが目的です。具体的には診療記録（カルテ）と画像フィルムを参考にして、実際に手術で摘出されたリンパ節が手術前の画像検査でどのように描出されていたか、さらに詳細な病理組織学的な検討を併せて評価を行います。なお遺伝子の検索は行っておりません。本研究の結果は学会・論文等で報告する予定ですが、個人情報厳密に管理致します。手術を受ける際に「手術で採取された病理材料の取り扱いと医学教育・研究使用に関する説明・同意書」で同意を頂いている方が対象となりますが、同意を撤回される希望のある方や本研究に同意されない方は下記連絡先までご連絡をお願い致します。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用する臨床研究であるため、このような利益相反の状態にはなりません。

なお、この研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の審査・承認を得ていますことを申し添えます。

問い合わせ先：川崎医科大学附属病院呼吸器外科 臨床助教 最相晋輔

電子メール：gts@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL：川崎医科大学病院代表(086-462-1111) 呼吸器外科実験室(内線 25519)

FAX：086-464-1124